

1. 研究動機

郡上は踊りが有名なので何か踊りについてできないか考えた。自分自身が踊りに参加した際コンパクトな財布があると手に持たずに思いっきり参加できると思い、ポケットサイズの三角小銭入れを作ろうと思った。

2. 研究概要

- ①浴衣集め
- ②製作
- ③オイデナーレ出展
- ④パンフレット作成
- ⑤ぶなの木学園さん提供
- ⑥まとめ

3. 研究内容

(1)型紙

- ×横18cm
- 縦7cm
- 横26cm
- 縦12cm

初めに作った型紙は小さすぎたので型紙を大きめに作った。

(2)耐久性

切った浴衣と浴衣の間に布をいれる→×ごわごわ、使いにくい
切った浴衣と浴衣の間に接着芯を貼る→○ごわごわしない、使いやすい、頑丈



(3)ミシンで縫いボタンを付けたら完成！！

三角形に折り、取れてこないようにミシンで縫う。また、中心にボタンを付ける。

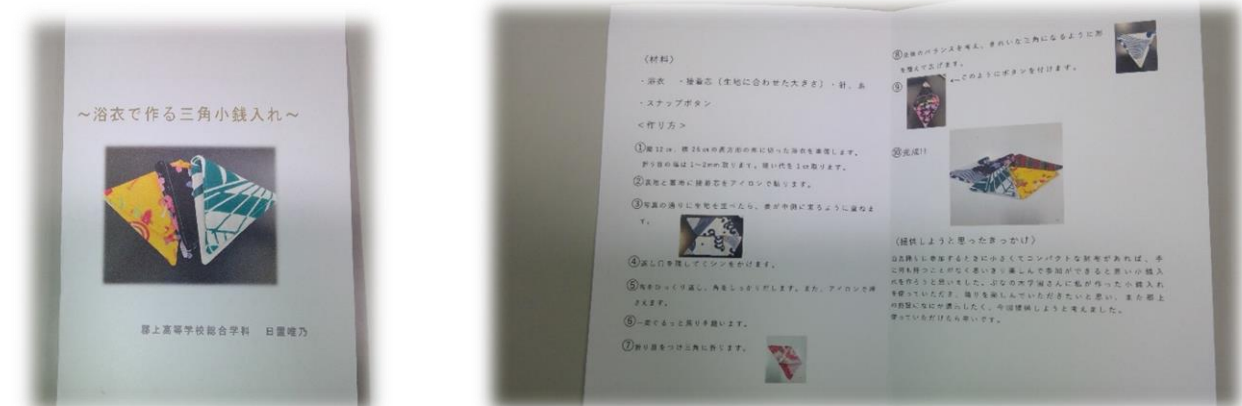
(4)町家オイデナーレ出展

沢山の人に自分の作品を見てもらえてとてもいい経験になった。



(5)パンフレット作成、ぶなの木学園さんに寄付

ぶなの木学園さんとは中学時代から交流があったため、今回課題研究で私が作った小銭入れを使っていただき、また今後ぶなの木学園さんの方で作る参考にしていただきたく提供しようと思った。



4. まとめ

浴衣で何かできないかと考えたときに使わなくなった浴衣を再利用できることを知り、一から自分で三角小銭入れを作ることができた。また、中学時代から交流のあるぶなの木学園さんに自分が作ったものを提供でき、地域と繋がることのできたのでよかった。卒業してからまた郡上に戻ってきたいと考えているので、今回の経験を生かして地域にさらに貢献していきたい。